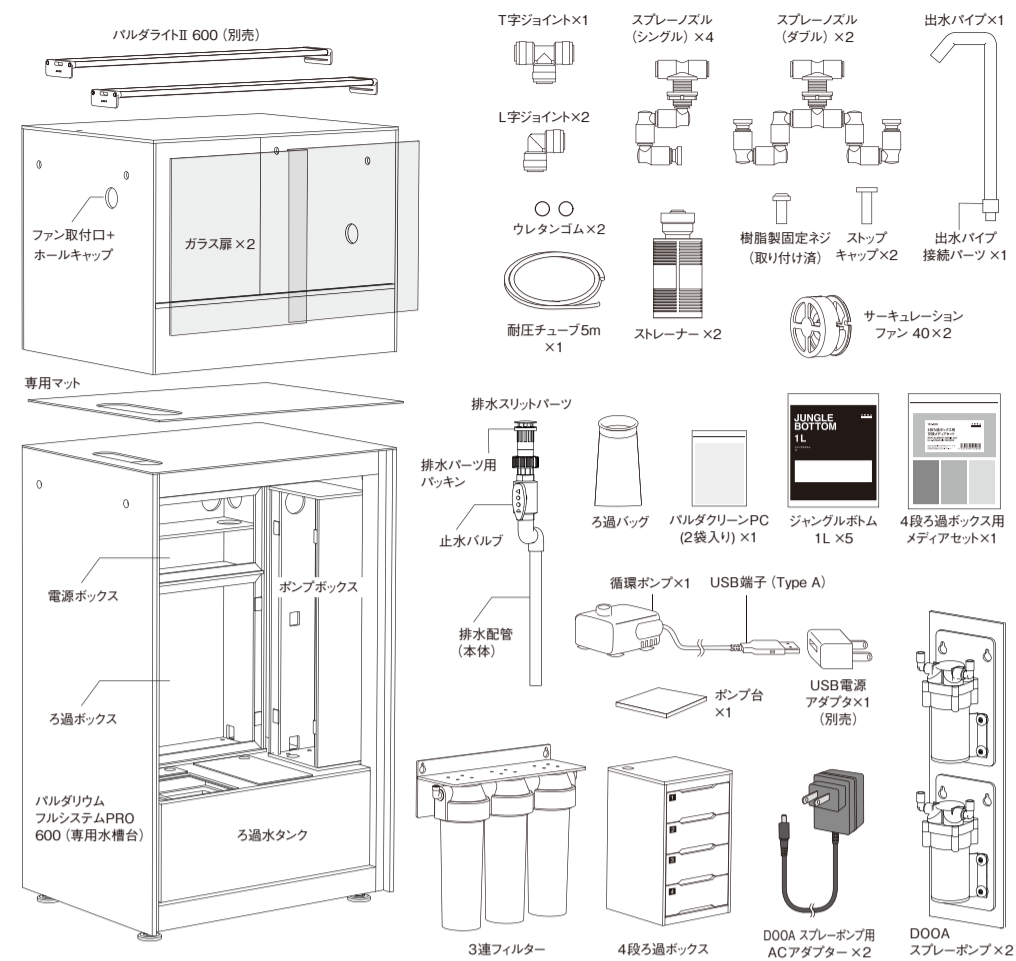


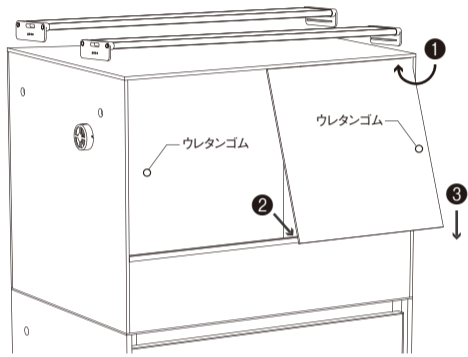


### 3. パルダリウムフルシステムPRO 600 各部名称 ※セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



### 4. パルダリウムフルシステムPRO 600 組み立て方法

ガラス扉は2枚使用します。左右それぞれに取り付けてください。  
**①** ガラス扉を上部のレールに差し込みます。  
**②** 扉を持ち上げながら下側を内側へ入れ、下部のレールの位置に合わせます。  
**③** 扉をゆっくり下ろし、上下のレールに正しく掛かっていることを確認してください。  
**④** 付属のウレタンゴムを右図を参考にガラス扉に貼り付けてください。ガラス扉の開閉時の指掛かりとして使用できます。  
 ※ガラス扉を取り外す際は、逆の手順で行ってください。  
 ※下部のレールにはアクリルロッドが組み込まれており、取り外しが可能です。取り外して清掃することで、レール部分を清潔に保つことができます。



るためのポンプです。適切に作動させることで、植物に必要な水分を供給し、安定した湿度環境を維持することができます。※スプレーノズルの接続方法については、図を参考に正しく取り付けてください。スプレーノズルは、水槽内に設けられた最大4箇所に設置します。植物にまんべんなく水分補給が行えるよう、適切な向きや角度に調節してください。

#### [8] サーキュレーションファン 40の設置

水槽左右にあるホールキャップを取り外してください。サーキュレーションファン 40を外側から取り付け、必ず固定パーツをはめ込んだ状態で使用してください。散水より1分長く作動させることで、湿気が水槽内に滞留するのを防ぎ、ガラス面の結露を抑制する効果も期待できます。サーキュレーションファン 40は、外側・内側と設置する向きを変えることで、水槽内の湿度を調整することができます。

#### [9] 配管パーツの接続

付属の耐圧チューブを必要な長さにカットし、以下の手順で配管してください。各チューブフィッティングには、耐圧チューブを奥まで確実に差し込んでください。

#### ■ DOOA スプレーポンプ①(循環・処理水用) と3連フィルターの接続

**①** ストレーナー①と、DOOA スプレーポンプ①の IN 側を耐圧チューブで接続します。  
 ※ストレーナー①はろ過水タンク①に設置してください。

**②** DOOA スプレーポンプ①の OUT 側と、3連フィルターの IN 側を耐圧チューブで接続します。

**③** 3連フィルターの OUT 側を耐圧チューブを接続し、耐圧チューブの先端から出水される浄水がろ過水タンク②に入るように向きを調節してください。

#### ■ DOOA スプレーポンプ②(散水用) とスプレーノズルの接続

**④** ストレーナー②と、DOOA スプレーポンプ②の IN 側を耐圧チューブで接続します。  
 ※ストレーナー②はろ過水タンク②に設置してください。

**⑤** DOOA スプレーポンプ②の OUT 側と、スプレーノズル(最大4箇所)を耐圧チューブで接続します。

※配管後、耐圧チューブの抜けや折れがないか必ず確認してください。  
 ※詳しい配管方法については、DOOA スプレーポンプの取扱説明書もあわせてご確認ください。

#### [10] 循環ポンプの設置・起動

循環ポンプは、ろ過水タンク①内の水を循環させるための常時作動ポンプです。ポンプ台に循環ポンプを固定し、図を参考に正しく設置してください。循環ポンプに接続パーツを用い出水パイプを取り付け、出水口からの水がろ過バッグ内へ落ちるように設置してください。また、ろ過バッグ内には付属のバルダクリンPC を2袋入れて使用してください。設置後、ろ過水タンク①に循環ポンプが十分に水に浸るまで注水し、循環ポンプを起動してください。約30分を目安に水を循環させ、軟水化を進めてください。ろ過水タンク①内の水位が低下すると空回りの原因となるため、定期的に水位を確認し、必要に応じて水を補充してください。  
 ※ポンプの空回りは絶対にしないでください。故障の原因となります。起動後は、正常に作動しているか、異音や振動、水漏れなどの異常がないことを必ず確認してください。異常が見られた場合は、すぐに電源を切り、接続や設置状態を確認してください。原因が特定できない場合は使用を中止してください。

#### [11] 排水配管パーツの設置

水槽底面の左前に設けられた排水用の穴に、付属の排水配管パーツを組み込んでください。取り付けの際は、排水パーツ用パッキンを忘れずに正しく取り付けください。パッキンが正しく取り付けられていない場合、水漏れの原因となります。

#### [12] 4段ろ過ボックスの設置

4段ろ過ボックスは、水に溶けたカルシウムやマグネシウムを取り除くことで、パルダリウムのガラス面への白い汚れ(水シミ)の付着を抑える交換式の吸着システムです。用途の異なる4種類のろ過メディアを段ごとに組み込んで使用します。「パルダリウムフルシステムPRO 600」では、以下の4ステップで水をろ過しますので、各メディアを指定の段に設置してください。  
 ※メディアの漏出を防ぐため、必要に応じて各段の排水口に付属の活性炭スポンジをカットして配置してください。

### 5. パルダリウムフルシステムPRO 600使用方法

【レイアウトを楽しむ前に】必ず試運転を行ってください。レイアウト作業に入る前に、以下の機器を市販のスマートプラグに接続し、「[17] 育成環境を整える」の管理タイムライン例を参考に、それぞれ設定した作動時間で最低24時間以上試運転を行ってください。  
 ●DOOA スプレーポンプ①(循環・処理水用) ※3連ROフィルターへ接続 ●DOOA スプレーポンプ②(散水用)  
 ●サーキュレーションファン 40 ●循環ポンプ ●パルダライトII 600(別売)または アクアスカイRGB II 600(別売)  
 試運転では、散水の発生状況、水槽底部の水の溜まり具合などを確認してください。もし想定と異なる場合は、作動時間などを再度調整してください。また作動時間の設定やサーキュレーションファン 40の設置場所・向きによって、水槽内の湿度環境や水槽底部の水の溜まり具合は大きく変化します。

#### 【各パーツの設置手順】

※以下の手順に従って、各パーツを設置してください。

**[1] 専用水槽台の設置:** 専用水槽台を、水平で十分な強度のある場所に設置してください。また、本製品に必要な電源を確保できるよう、コンセント(差し込み口)の位置も事前に確認してください。

**[2] 水平調整:** 専用水槽台の4箇所にあるアジャスターを調整し、水平器を使用して天板が水平になるよう調整してください。  
 ※水槽の破損や水漏れ防止のため、必ず水平を確認してください。

**[3] 専用マットの設置:** 専用水槽台の天板に、付属の専用マットを敷いてください。

**[4] 水槽の設置:** 専用マットの上に、水槽を静かに設置してください。 ※設置面に砂利などの異物がないことを必ず確認してください。

**[5] ガラス扉の取り付け:** 付属のガラス扉2枚を、組み立て方法の図を参考に、上下のレールに正しく取り付けてください。取り付け後、付属のウレタンゴムをガラス扉に貼り付けてください。

#### [6] 3連フィルターの設置

3連フィルターは、以下のフィルターカートリッジを組み込んだ状態で出荷しています。使用前に、DIフィルターの外装を取り外し、各フィルターカートリッジを事前に軽くすすいでください。また、クリアハウジングがしっかりと締まっていることを確認し、緩んでいる場合はハウジングレンチを用いてしっかりと締めてください。

- ・フィルターカートリッジ①: PFカーボンフィルター
- ・フィルターカートリッジ②: DIフィルター
- ・フィルターカートリッジ③: 0.1μmメンブレンフィルター

※フィルターカートリッジは、1か月に1回を目安に交換してください。レイアウトや使用素材によっては、交換時期が延びる場合があります。

#### [7] DOOAスプレーポンプ①・②、スプレーノズルの設置

※DOOAスプレーポンプ①・②は、ポンプボックスの壁面に、取り付け済の樹脂製固定ネジを利用してしっかりと固定してください。配管を行いやすいため、DOOAスプレーポンプ①は下側、DOOAスプレーポンプ②は上側に固定することを推奨します。  
 ※DOOAスプレーポンプ①・②は同一仕様のポンプです。本説明では機能ごとに①(循環・処理水用)、②(散水用)と表記しています。

※設置の際は、DOOAスプレーポンプ本体やポンプ台をろ過槽内に落下させないよう、十分ご注意ください。落下は、キズ・カケ・割れの原因となります。DOOAスプレーポンプ①は、4段ろ過ボックスでろ過された水を3連フィルターへ圧送し、強制的に不純物ろ過を行う循環・処理水用ポンプです。DOOAスプレーポンプ②と連動することでパルダリウム内の水循環を安定させます。DOOAスプレーポンプ②は、3連フィルターで処理された水を水槽内へ散水す

- 1段目、「活性炭スポンジ」: 水中の浸出物や色を消す活性炭を含むスポンジ型ろ過メディア。  
 ※活性炭スポンジは5枚付属していますが、使用するのは4枚です。残りの1枚は予備またはメディア漏出防止用です。
- 2段目、「無煙炭」: 無煙炭を用いた多孔質ろ過メディア。
- 3段目、「NAカーボン」: 水質を最適に保つための特殊なカーボンろ過メディア。
- 4段目、「活性アルミナ」: 活性アルミナを用いたリンや不純物を吸着して水質を整えるろ過メディア。  
 ※ろ過メディアは、1ヶ月に1回を目安に交換してください。

#### [13] DOOA スプレーポンプ①の起動(循環・処理水)

DOOA スプレーポンプ①が空回りしないよう、ろ過水タンク①の水位を確認し、ストレーナー①が完全に水に浸っていることを確認してください。次に、DOOA スプレーポンプ①のACアダプターを差し込み口に差し込み、起動させてください。起動後は、ろ過水タンク①の水位が徐々に下がり、ろ過水タンク②の水位が増します。そのため、定期的ろ過水タンク①の水位を確認し、ストレーナー①が常に水中にあることを確認してください。必要に応じて水を補充してください。

※DOOA スプレーポンプの空回りは絶対にしないでください。故障の原因となります。

※起動後は、正常に作動しているか、水槽からの水漏れやその他の異常がないかを必ず確認してください。

※必要に応じて、バックチェッカー TH(別売)などを使用して、3連フィルターを通した水の硬度を確認して不純物の有無を確認ください。異常を発見した場合は、すぐにACアダプターを抜き、再度接続や設置に問題がないか確認してください。原因が特定できない場合は、使用を中止してください。安全のために: USB電源アダプターやACアダプターに水滴がかかったり、水がコードを伝って濡れると火災や感電の原因となります。水槽より低い位置の差し込み口を使用するときは、差し込み口より下にコードをたるませドリップループを設けてください。

#### [14] DOOA スプレーポンプ②の起動(散水)

スプレーノズルを水槽内の適切な位置に固定し、散水範囲を調整してください。その後、DOOA スプレーポンプ②のACアダプターを差し込み口に差し込み、起動させてください。このとき、DOOA スプレーポンプ①も同時に起動し、ろ過水タンク②の水位がストレーナー②を下回らないように注意してください。散水が正常に行われていることを確認したうえで、必要に応じてタイマー機能を設定してください。市販のスマートプラグを使用した場合、タイマー設定による自動散水が可能です。指定した時間に自動で散水が行われるよう、設置環境や植物の状態に合わせてスケジュールを調整してください。ポンプ稼働中は、スプレーノズルからの散水状態を定期的に確認するとともに、水が不足しないよう、ろ過水タンク①・②の水位をチェックし、必要に応じて水を補充してください。

#### [15] 照明器具の設置

W600に対応する照明器具を設置してください。パルダライトII 600(別売)は、パルダリウムに適した光色が熱帯植物の発色を引き出すLED照明です。タッチセンサースイッチにより光量を3段階で調整でき、育成する植物に応じた照明環境を設定することができます。本製品では、より均一な照明環境を得るため、パルダライトII 600を2台使用することを推奨します。

#### [16] レイアウト作業の開始

軟水化を進めている間に、底床素材やレイアウト素材を使用して水槽内のレイアウト作業を進めてください。植物の配置や植栽を行い、パルダリウムの育成環境を整えてください。

#### [17] 育成環境を整える

市販のスマートプラグを使用することで、実際の設置環境に合わせた柔軟な設定が可能です。照明(パルダライトII 600)、ミストフロー、サーキュレーションファン 40の作動時間や頻度、設置する向きなどを細かく調整することで、植物にとって最適な育成環境を実現できます。

#### パルダリウムフルシステムPRO 600 管理タイムライン(例)

項目	設定例
パルダライトII 600	8:00~17:00(9時間/照度中)
DOOA スプレーポンプ①(循環・②散水)	8:30 / 10:30 / 12:30 / 15:00 / 17:00 / 23:00(各1分)
サーキュレーションファン40(吸気)	7:00 / 12:00 / 15:00(各1時間)
サーキュレーションファン40(排気)	8:30 / 10:30 / 12:30 / 15:00 / 17:00(各1時間)
循環ポンプ	24時間(常時作動)

※上記は育成環境の一例です。 ※植物の種類や設置環境(温度・湿度・季節)に応じて調整してください。

### 6. その他の使用上の注意

- 底床素材にはDOOAシリーズのジャングルソイル(別売)およびジャングルベース(別売)、ジャングルボトムの使用をおすすめします。ジャングルボトムは1L×5が付属しており、排水性を高め底部に水が溜まりにくい環境を作ります。
- サーキュレーションファン 40の取り付け方や使用条件によっては、ガラス扉の隙間から水滴が漏れることがあります。隙間が気になる場合は市販のU字シリコンをご使用ください。